

ひとつひとつの 単語のイメージが大切

「感じる英語」の提唱者
大西泰斗先生

生徒の間を歩き来しながら講演する大西先生

大西先生は、自己紹介の時から前に設置されたステージから降りて生徒の間を歩き来て話をしてくださった。大西先生はまず、「話す力は最も高い能力」と強調され、発音・単語のイメージ・前置詞・文型などさまざまな観点から



速報新聞

キマグレ

発行所

彦根東高等学校

新聞部

彦根市金亀町4番7号

16歳の教科書in彦根

生きた英語を使ってほしい

10月7日、前期終業式・後期始業式が行われた後、『16歳の教科書in彦根』として東洋学園大学教授の大西泰斗先生が「話すための英語学習」と題して講演をしてくださった。



気さくに取材に答えてくださった大西先生

大西先生は、講演後新聞部の取材にも応じてくださった。大西先生に何十年もご自身が話してきた英語というものの魅力について何うと、「正直言つて、特別に英語が好きっていうわけではない。どちらかといえば、日本語のほうが魅力がある(笑)。でも、やっぱり世界的には一番便利だし、得たものはたくさんあったと思う」と少し意外な答えを返された。また、大学での言語の学習について尋ねると、「大学で英語に限らず、『言語』と

効率よく学べる方法を探して



大西先生が執筆された本。現在、図書館に置かれている。

しての専門的に研究を進めたと思う人は、英語そのものよりも数学をしつかりやったほうがいい。言語というのはそもそも根本的なシステムがあつてのものだから、そういったことを考える力を数学によって高校からでも養ったほうがいい」とアドバイスをくださった。最後に東高生に向けてメッセージをお願いすると、「講演の最後にも言ったが、やはり英語を勉強するのはやり方が大事。高校での英語で学ぶこともやはり無駄なことばかりではないと思うし、受験という一つの目標に向かって進んでいくことは大事だから、効率よく学べる方法をしつかり探して欲しい」と話してくださった。